

令和8年度 学校経営方針

令和8年4月2日
北九州市立小倉南特別支援学校
校長 北野 里香

学校教育目標

児童生徒の自立と社会参加を目指し、生涯にわたり生きがいをもって生活できる、心身ともにたくましく生きる人間の育成を図る。

<めざす児童生徒像>

- 明るい子 (生き生きと、自信をもって活動する子ども)
- 思いやりのある子 (進んであいさつができ、自分を大切に、人を大切にできる子ども)
- たくましい子 (健康で安全な生活ができる子ども)

<めざす学校像>

- 一人一人の子どもの能力や可能性を最大限に引き出せる学校
- 人権尊重を基盤にし、一人一人の子どもの豊かな心を育む学校
- 子どもや保護者、地域が信頼できる学校

<めざす教師像>

- 子どもの人権を尊重し、常に愛情豊かな教師
- 教育専門職としての力量を高めるために絶えず研修に努める教師
- 目的達成のために協力し合う教師

本年度の重点目標

児童生徒が安心して学び、主体的に挑戦し、着実に成長できる学校づくり

(1) 安心して過ごせる教育環境づくり

児童生徒が見通しをもち、落ち着いて活動できる教育環境を整備する。

- ・ 視覚的支援やスケジュール提示などによる見通しのある授業づくり
- ・ 生活と結びつける教科指導と個別最適な学びの充実
- ・ クールダウンスペースなどの情緒の安定を図る環境づくり
- ・ 安全点検や危機管理体制の充実による安全・安心な学校生活の確保

(2) 安心できる人間関係づくり

児童生徒が互いを尊重し、安心して自己表現できる学校づくりを推進する。

- ・ 児童生徒のよさを認める肯定的な関わりを基盤とした指導
- ・ 協働的な学習や交流活動による豊かな人間関係の育成
- ・ いじめやトラブルの未然防止と早期対応のための校内情報共有体制の強化
- ・ 児童生徒の自己肯定感を育てる指導の充実

(3) チームで支える専門的支援体制づくり

教職員が専門性を高め、組織的な支援体制を構築する。

- ・ 個別の教育支援計画・個別の指導計画を活用した指導の充実
- ・ 校内研修による障害特性理解と指導力の向上
- ・ 家庭・医療・福祉との連携による多面的な支援体制の構築
- ・ 教職員間の情報共有による組織的な支援の推進